

## 小学生に女性自衛官の活躍をPR

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、11月1日（木）、菊川市立堀之内小学校の「職業講話」に袋井地域事務所の山下亮三等海曹を講師として派遣し、自衛隊をPRした。

これは菊川市役所地域支援課が企画し、性別にとられない職業で活躍する大人たちとのふれあいを通じて、児童期における男女共同参画の意識啓発を目的に行われたもの。体育館に同校の3、4年生約150人が集まり、山下3曹と地域の病院で勤務する男性看護師が講師を務めた。

山下3曹の講話では、クイズを交えて自衛隊の仕事や装備品を紹介したほか、航空自衛隊作成のパンフレット『空女』や防衛省が編集協力している雑誌『MAMOR』なども活用し、自衛隊で働いている女性自衛官の姿やこの仕事のやりがい、そして今年初めて女性の戦闘機パイロットが誕生したことなどを分かりやすく丁寧に紹介した。

講話後は、講師2人への質問時間が設けられ、「なぜ海上自衛官になりたいと思うたんですか」「船の中で食事を作る人がいると聞きましたが本当ですか」など、児童から寄せられた質問に山下3曹が笑顔で丁寧に答えた。

静岡地本は、今後も学校等と積極的に交流し自衛隊に対する正しい認識と理解の向上に努め、若者が描く将来の夢や可能性の拡大結果に貢献していく。



## 磐田市立福田中学校で自衛隊式の整理整頓を紹介

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、11月8日（木）、磐田市立福田中学校で行われた「未来授業」に袋井地域事務所の山下亮三等海曹を講師として派遣し、自衛隊について説明を行った。これは、さまざまな職種で働く大人が、子供たちに働くことの楽しさや生きがいなどを伝え、将来の夢や可能性を広げることを目的に行われているもの。

当日は自衛隊のほか、ダンスインストラクターや動物看護師など多彩な業種から2人の講師が参加。山下3曹は約50分間の授業を2回、それぞれ6、7人の生徒を対象に行った。

授業では、生徒が社会人になったつもりで自分の自己紹介を記載した名刺を作成し、講師と交換。山下3曹は名刺に記載された部活動や将来の夢などについて1人1人と会話をし、生徒たちの緊張をほぐした後、自衛隊の活動や任務、役割などについてスライドを使いながら丁寧に紹介した。

自身が乗艦していた護衛艦「むらさめ」と「てるつき」での海外勤務の経験を基に海上自衛官のやりがいなどを伝えたほか、自衛隊では身の回りのものをすぐに使えるように日頃から整理整頓が徹底されていることを、授業会場である図書室の本の整理要領を例に分かりやすく説明した。

授業を受けた生徒は「自衛隊は災害派遣だけではなく、海外に行くなどさまざまな仕事をしていることが良く分かった」「これからは整理整頓を頑張ります」と話していた。

静岡地本は、今後も学校等と積極的に交流し、自衛隊に対する正しい理解の向上に努め、若者が描く未来の夢や可能性の拡大結果に貢献していく。

